

四 中国幣制改革

1 通貨危機に対する中国政府の対応

482

昭和10年1月8日 在中國有吉公使より
廣田外務大臣宛(電報)

銀価高騰問題に関する宋子文前財政部長と吉

田三菱銀行上海支店長との意見交換について

付 記 一月二十八日發在中國有吉公使より廣田外務

大臣宛電報第七二号

右宋・吉田会談の内容について

上 海 1月8日後発
本 省 1月8日後着

(付 記)

上 海 1月28日後発
本 省 1月28日後着

第六號

張福運(客年夏頃ヨリ宋子文ノ許ニ經濟委員會ノ仕事ヲ爲
シ居レリ)客臘下旬堀内來訪宋ハ目下銀問題ヲ重視シテ

研究シ居ルカ曩ニ須磨ヨリノ聞込モアリ三菱銀行吉田ノ意
見ヲ伺フ様自分ニ命シタリト述ヘ堀内ノ紹介ニテ吉田ノ意

貴電第一五六號ニ關シ(銀問題宋子文談報告未着)
郵報未濟ナルニ付内容左ノ通り電報ス

一、吉田ヨリ支那ノ銀問題ハ米國ノ銀買上策ニ基クモノナレ

ハ支那側ハ之カ緩和方ヲ交渉スヘク之力爲ニハ日英佛等ノ支持ヲ得テ列國ヨリ米國ヲ說得スル様依頼スルコト必
要ナリト述ヘ堀内ヨリ銀問題ノ根本解決ハ支那ノ國際貨
借ノ「バランス」ヲ計ル以外ニ方法ナク之力爲ニハ輸入
抑制可ナルモ其ノ結果關稅收入ヲ減少シ財政難ヲ來ス故
專ラ輸出獎勵ニ依ルヘク支那ノ大宗ノ輸出品ハ世界的不
況ニ影響セラレ居ルヲ以テ之カ增額ハ困難ナルモ唯棉花
ハ日本ニ於テ毎年巨額ノ需要アレハ之ヲ改良増產シ日本
ニ輸出スルコト捷徑ナリトテ兩國經濟提携ノ必要ヲ說キ
タルニ

⁽²⁾ 宋ハ銀問題ハ米ノ銀買上策ヨリモ寧口支那ノ國際貸借ノ
不利ニ基クモノナレハ金融救濟ハ輸入抑制（主トシテ米
麥麥粉等ノ輸入ヲ抑制スル必要アリト謂フ）及輸出獎勵
(棉花ハ少クトモ印棉程度ノモノハ相當增產シ居リ今後
ノ見込充分ナリト述ヘ堀内ヨリ米棉程度ノモノモ相當有
望ナリト述フ)ヲ主眼トスヘク米ノ政策變更ヲ交渉スル
ハ第一義的ナリト述ヘ堀内ヨリ支那ノ對米交渉ノ模様ヲ
聞キタルニ對シ其ノ後モ接觸シ居ルモ何等具体的ノ效果
ナキ模様ナリト述ヘタリ（宋ハ列國ノ援助ヲ得ハ實現ノ
タリ）

可能性アリヤニ付頻リニ兩人ノ意見ヲ尋不居タルカ堀内
ハ宋ハ對米交渉ニ餘リ望ヲ掛ケ居ラサルヤノ印象ヲ得タ
ル趣ナリ）

三、吉田ヨリ輸出稅平衡稅ノ賦課ハ支那國內ニ於ケル銀ニ對
スル不安ヲ増シ密輸出及「ホウルデング」ヲ獎勵スルモ
ノナレハ之ヲ輕減又ハ撤廢スヘシト述ヘ宋ハ國際貸借ノ
「バランス」ヲ取ラスシテ課稅ヲ減廢セハ銀ノ流出ヲ防
キ難シト述フ（右ニ關シテハ吉田ヨリ再三自說ヲ繰返シ
述ヘタルカ宋ヲ納得セシメ得サリシ趣ナリ）

⁽³⁾ 吉田ヨリ過渡のノ金融救濟策、現在支那銀行銀準備ハ紙
幣發行額ノ六割餘ニ當ルヲ以テ之ヲ各國並ノ三割餘ノ程
度ニナル迄紙幣ヲ增發セハ充分救濟シ得ルモ之カ爲ニハ
支那政府ノ信用ヲ増ス爲外國銀行ノ協力（紙幣發行及回
收ニ付或ル程度ノ監督又ハ忠告ヲ爲シ其ノ代リ紙幣兌換
ニ付適當ニ責任ヲ分擔スル仕組）ヲ求ムル要アリ又現在
ノ十三行ノ發券銀行ヲ中央、中國、交通ノ三銀行位ニス
ル必要アリト述ヘタルニ宋ハ右考案ハ理論的ニハ至極結
構ナルモ多大ノ實行難ヲ伴フト述ヘタリ

四、右ノ外吉田ヨリ過渡的便法トシテ平價切下、兌換停止其

ノ他ノ人爲策ハ支那ノ現在ノ貨幣制度乃至信用狀態ノ下

ニ於テハ絕對ニ不可ナル旨ヲ述ヘ又標金取引所ニ於テ政
府カ銀價維持ノ爲「マニピュレーシヨン」ヲ行フハ不可
ニシテ同取引所ノ取引ハ賭博的性質ノモノ多ク銀價ニ惡
影響ヲ及ホスマ以テ充分取締ノ要アリ然ラスハ之ヲ閉鎖
スルモ可ナリト述ヘタルニ宋ハ同取引所ハ初メ街上ニ於
テ行ハレタル賭博的取引ヲ統制スル爲設ケタルモノナレ
ハ之ヲ閉鎖セハ却テ弊害ヲ生スヘク充分取締ル要アリト
述ヘタリ（尙右會談ノ際外國借款ノコトハ何等問題トナ
ラサリシ趣ナリ）

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

483

昭和10年1月15日 在南京田中（彦威 総領事代理より
広田外務大臣宛（電報）

中国側の英米両国に対する財政支援要請は何

れも不調に終つた旨唐有王内話について

付記 東亜局作成 作成日不明

「銀問題ニ關スル支那側ノ對米交渉」

南京 1月15日後発
本省 1月15日後着

（付記）

銀問題ニ關スル支那側ノ對米交渉

客年八月二十日孔祥熙ハ在上海米國總領事ヲ通シ一九三三年銀協定前文中ニ銀價安定力支那ノ利益ナル旨記載セラ
居ルヲ指摘シ最近ノ米國ノ銀政策カ右ニ悖リ支那ノ利益ニ
反スルヤニ見ユルヲ以テ此ノ際將來米國ノ採ランツル銀

(一) 買上政策ナルモノヲ明示セントヲ要求セルカ米國國務省
ハ右ニ對シ九月二十二日電報ニテ前記總領事ヲシテ米國ノ銀購買法ハ一九三三年ノ通貨及經濟會議ニ於ケル銀ノ使用

增加ニ關スル決議ノ趣旨ニ反セサルコト及銀貨昂騰ノ結果銀貨鑄潰ノ惧アル場合ニ於テ外國政府力採ラントスル防止

對策ヲ妨害スルカ如キコトヲ爲ササルコトヲ述ヘ支那ノ銀流出對策ト米國ノ銀政策トカ協調シ得ヘキ方法ニ關シ支那

政府ノ見解ヲ聞クニ答ナラサル旨回答スル様訓令セリ

然ルニ右米國側回答ハ電報ノ都合ニ依リ遲延セラルモノノ如ク孔部長ハ更ニ九月二十四日施公使ヲシテ「ハル」國務長官ニ對シ正式公文ヲ以テ銀價ノ昂騰ハ支那財界ノ恐慌

ヲ發生セシムル惧アルヲ以テ此ノ際米國ハ此ノ上支那ノ銀流出ヲ促進スルカ如キ行動ヲ取ラス銀價ノ昂騰ヲ阻止シ安定ヲ維持スヘク支那ト協同スヘキ旨ノ保障ヲ與ヘラレタキコト並ニ支那カ金本地^(往々)制度採用準備ノ爲金ノ保有ヲ必要トスルニ對シ米國カ銀購入ノ必要アルニ鑑ミ米國ハ米支間ニ金銀ノ交換ヲナスノ意嚮ヲ有セサルヤヲ照會セシメタリ

(註) 孔部長ハ更ニ十月一日附「ハル」長官宛公文ヲ以テ前記照會ニ對スル回答ヲ督促シ支那ノ銀流出防止ハ國際銀價

(欄外記入三)
現在各國ハ自由市場ニ於テ金又ハ銀ヲ購入シ得ル次第ナルヲ以テ政府間ノ直接取引ハ未タ考慮セラレタルコトナシ、但將來共右市場ヲ利用スヘキヤ否ヤニ付テハ友好的議論ノ餘地アリ殊ニ兩國力同一貨幣本位建設ノ共通ノ希望ヲ有スルニ鑑ミ特ニ然リ

米國政府ハ右ノ如キヨリ大ナル問題ニ付何時ニテモ喜ンテ支那側代表者ト研究ヲ遂クヘシ

尙十一月一日宋子文ハ須磨總領事ニ對シ「米國ノ銀政策ハ上院銀派ノ要求ニ基ク純然タル内政問題ニ過キサル處今ノ銀輸出稅及平衡稅加徵ニ不拘、銀流出ヲ見ル場合ニハ銀一弗ニ付一志ノ對英相場ヲ限界トシテ支那財界ハ「パニック」ニ入ル懸念濃厚ナリ支那ハ紙幣弗ニ依ルコト能ハサル事情アルニヨリ此處ニ破綻ヲ生シ遂ニハ銀ヲ豊富ニ所有シ居レル米國ニ財政的援助ヲ歎願スル外ナキニ至ルヘシ」云々ト語レル趣ナリ尙同廿日頃同總領事ノ支那要人ヨリ得タル情報ニ依レハ支那政府ハ銀問題解決ニハ米國ニ縋ルヨリ外ナシト觀念シ孔祥熙ハ極秘裡ニ「カニンガム」總領事ヲ通シ米大統領ニ對シ嘆願的交渉ヲ行ヒ居リ其ノ成行ヲ見タル上外交部ニテ正式ニ取上クル方針ナル趣ナリ尙十一月

(二) 人爲的吊上ノ已ムヲ得サル結果ニ外ナラス米國ハ此處ノ人爲的吊上ノ已ムヲ得サル結果ニ外ナラス米國ハ此處

(欄外記入四) 壓銀購入ヲ制限シ得サルヤト懇請セリ

(註) 金銀交換案ノ部ヲ全譯スレハ左ノ如シ

國民政府ハ銀價變動ノ惡影響ヲ避クヘク積極的ニ對策

ヲ講スルノ已ムナキニ至レリト感スルモノニシテ支那

ノミカ銀本位ヲ繼續スヘキニ非スト思考シ金基礎ノ通

貨制度ヲ漸進的ニ採用センコトヲ考慮中ナリ

而テ其ノ爲金ヲ取得スルコト必要ナル處米國政府カ銀

ノ通貨準備ヲ增率セシコトヲ希望シ居レルニ鑑ミ此ノ

際國民政府ハ米國政府カ金銀交換ヲナスヲ欲セサルヤ

否ヤヲ主義上確メ置キ度キ希望ナリ

右ニ對シ「ハル」國務長官ハ十月十二日附ヲ以テ米國政府ハ法令執行ノ義務上銀ノ購入ハ已ムヲ得サルモ其ノ實行ニ當リテハ出來得ル限り支那政府ノ意思ヲ考慮スヘキコト竝貨幣本位問題ニ付テハ更ニ友誼的討議ヲナスニ異存ナキ旨回答セル趣ナリ(以上ノ米支間往復文書ハ十一月中旬公表セラレタリ)(註)

(註) 支那側ノ金銀交換案ニ關スル回答ノ部分全譯左ノ如シ

ノ駐露米國大使「ブリット」歸任ノ途次支那ニ立寄リ何等カ米支間ニ交渉進行中ナルヤノ風說アル處同大使ハ同廿二日須磨總領事ニ對シ上海及北平ニテ米國銀政策ニ關シ支那人ヨリ不平ヲ訴ヘラレタルモ支那貿易力入超ニシテ且過去二年間金カ輸出シ盡サレタル以上銀ノ輸出モ亦已ムヲ得サルヘシト應酬シ置ケリト語レル趣ナリ

本年ニ入リテハ支那ノ經濟危機切抜ケノ爲宋子文渡米シ借款交渉ニ當ルヘシトカ米國ハ施公使ニ於テ交渉セル結果銀買上政策ハ變更スルニ同意セリトカ種々ノ風說アリタルモ何レモ事實ナラサリシモノノ如シ對米「グレヂツト」設定方ノ交渉ヲナセルハ事實ニシテ支那海關總稅務司「メーブ」カ英國ヨリノ歸途米國ニ立寄リ該交渉ニ當レル由ナルモ米國ハ其ノ銀政策遂行ノ都合上ヨリ之ニ應セサリシヲ以テ之カ折衝ヲ目的トセル宋子文ノ渡米モ自然沙汰止ミトナレルヤニモ傳ヘラル尙宋子文ハ一月四日在支公使館堀内書記官ト會談ノ際對米交渉ハ何等具体的效果ナシト語リ餘り米國ニ望ミヲ掛ケ居ラサル様見受ケラレタル趣ナリ

一月二十一日孔部長ハ須磨總領事ニ對シ米國トノ交渉ハ上院ノ銀派サヘ說得セハ何トカナルヘシト思考シ執拗ニ詰合

繼續中ナルモ前途ハ豫測シ得スト語レル由尙孔ハ「ヤン
グ」等ヲ通シ直接「ルーズベルト」ニ交渉シ居ルヤノ聞込
アリ

(欄外記入一)

最近英大使申出ノ對支援助ノ件ニ關シ米國側ノ態度ヲ測知スル
ニ資スルモノアルニ付本稿ノミ(米大使館公信ハ省略セラレ可)
御通覽アリ度(守島)

(欄外記入二)

實際問題トシテ支那ノ現狀ニ於テ實行不可能ナルコトヲ云ヒ歐
米ノ氣ヲ引カムトスル舊式ノ遣方ナルカ最早米モ乗ラス(守島)
(欄外記入三)

米國ハ支那ノ金本位實行難ヲ承知シツ、外交辭令ヲ用ヒツ、ア
ルナリ(守島)

484 昭和10年1月22日 在南京須磨總領事より
廣田外務大臣宛(電報)

銀問題に関する財政援助を黃郛要請について

シテ援助ヲ與ヘラルルコトハ單ニ經濟上ノミナラス日支
關係行詰リノ打開上ヨリモ妙ナルヘシ河北ニ於ケル通車
通郵ノ解決南京ニ於ケル無線聯絡開始賠償金ノ支拂等日
本ハ專ラ支那ヨリ搾取シ居ラル形ニ見ヘ居レハ一般ハ
今後ハ日本ヨリ何カ戴キ度シト思ヒ居レリ依テ全然自分
一己ノ考ナルモ例へハ本問題等ヲ切掛けニ日本側力乘出
シ來ルコトモ適當カト存スト述ヘタルニ付

二、本官ヨリ銀問題ニ依リ最モ利得セルハ米國ヨリモ寧口銀
ヲ保有スル印度ヲ控ヘタル英國ニアラスヤサレハコソ香

上銀行等カ借款ニ應スルノ風ヲモ躊躇セサル次第ト思考

セラルト一言セル上貴下列舉ノ諸問題ハ支那側ニ於テ當
然遣ルヘキモノヲ解決セルニ遇キサルヲ以テ日本ヨリ何
等カ代償ヲ得ントスル考慮ハ出發點ニ於テ誤レリ日本ノ
援助ヲ得ント欲セハ先ツ日本ニ依頼セントスル氣持ヲ忌
憚ナク表示スルノ要アリ率直ニ言フニ蔣介石及汪兆銘ハ

少クトモ對日政策ノ遂行ニ當ツテハ貴下程ノ熱意ト勇氣

ヲ有セサルヤニ認メラルルハ覆ヒ得サル事實ナリト述ヘ

タルニ黃ハ成ル程蔣、汪ハ假リニ日支提携ノ外ナキヲ知

ルモ尙日本ニ對シテ若干ノ疑念ヲ抱キ居ル一方部内ニ對

シテモ遠慮セサルヲ得サル立場ニアリト答ヘタリ

三、依テ本官ヨリ大体往電第四ニ號汪兆銘ニ對スルト同様ノ
趣旨ニテ說示セル處黃ハ自分トシテハ全然同感ニテ極秘

乍ラ床次氏ヨリ人ヲ派シ貴見程ニハ明確ナラサリシモ大

体似寄リノ話アリタルコトアリ自分ハ勇躍大局ニ當ラム

トノ決意ヲ漏シタル程ナルカ現實ヲ見ルニ之カ實現ハ遼

遠ト言ハサルヲ得スト述ヘ最後ニ再ヒ銀問題ヲ持出シ何
モ良策ナルヘキカ之トテ現政府ニハ其ノ能力無キ次第ナリ

南京 1月22日後発
本省 1月22日後着

繼續中ナルモ前途ハ豫測シ得スト語レル由尙孔ハ「ヤン
グ」等ヲ通シ直接「ルーズベルト」ニ交渉シ居ルヤノ聞込
アリ

第五一號

(⁽¹⁾二十一日黃郛ハ李澤一ヲ派シ本官ト會見方申出テシメタ

ル次第モアリ廿一日會見セル處黃ヨリ現在支那當面ノ大
問題ハ銀問題ニテ此ノ儘一箇年モ經過セハ破產ノ外ナシ

トモ思考セラル宋子文若ハ貝淞蓀⁽²⁾ヲシテ渡米セシムル說
アルモ從來交渉ノ經過ニ顧ミ米國ハ何等乗出シ來ラサル

ヘク最近同國ハ却テ各種債權ノ支拂ヲ峻烈ニ請求シ來リ

居旅程ニテ(十八日朱家驛モ本官ニ對シ「マルコニー」
電信借款整理方米國ヨリ頻リニ督促シ來リ居ル旨內話セ
リ)米國トテ同様ナルヘキニ付此ノ際日本カ列國ニ率先

シテ援助ヲ與ヘラルルコトハ單ニ經濟上ノミナラス日支
關係行詰リノ打開上ヨリモ妙ナルヘシ河北ニ於ケル通車
通郵ノ解決南京ニ於ケル無線聯絡開始賠償金ノ支拂等日

本ハ專ラ支那ヨリ搾取シ居ラル形ニ見ヘ居レハ一般ハ
今後ハ日本ヨリ何カ戴キ度シト思ヒ居レリ依テ全然自分

一己ノ考ナルモ例へハ本問題等ヲ切掛けニ日本側力乘出
シ來ルコトモ適當カト存スト述ヘタルニ付

485 昭和10年1月28日 在中國有吉公使より
廣田外務大臣宛(電報)

トカ援助アリ度シト頻リニ懇請シ居タリ
支、北平ニ轉電セリ

銀問題で窮乏する中國經濟の復興には日本の
技術援助が効果的であるとの中國財界人の提
案について

上海 1月28日後發
本省 1月28日後着

第六八號

(⁽¹⁾二十五日周文彬ハ往訪ノ館員ニ對シ現下中國ノ最大問題ハ
銀問題ニシテ之ニ較フレハ察東問題等問題ニナラス政府ハ
課稅ニ依リ銀ノ流出ヲ喰止メ居ルモ密輸ニ依ル流出依然
ニシテ香港ノ如キハ歐米向汽船ハ每船百萬弗ノ銀ヲ積ミ居
レリト稱セラレ政府トシテモ百方苦心シ居ルモ差當リ之ト
言フ良策ハ無クホトホト當惑シ居ル模様ナリ之カ對策ニ付
テハ經濟ノ建直シヲ行ヒ產業ノ發達輸出ノ振興ヲ計ルコト
モ良策ナルヘキカ之トテ現政府ニハ其ノ能力無キ次第ナリ

自分ハ右銀問題ニ付日本カ何等救援ノ手ヲ差延ヘラルコト却テ最近新聞ニ傳ヘラルカ如キ政治的ニ諸種ノ協定ヲ結ハルヨリモ一層效果多カルヘキヤニ思考ス即チ例ヘハ日本側ノ斡旋ニテ米國ノ銀政策緩和ヲ計ルコトモ一策ナルヘキカ右ハ米國ノ國內的事情ニ見テ中々困難ナル問題ニシテ且根本的解決策ニハアラサルヘク夫レヨリモ寧口例ヘハ支那側ノ原料ヲ出來得ル丈多ク購入シ遣リ輸出ヲ促進シ造ル方手近ナルヘシ

然シ乍ラ經濟產業トモ疲弊ノ極ニ達セル現狀ニ於テ之トテ實際何程ノ効果モ無カルヘキヲ以テ之カ根本的救援策トシテハ日本カ進ンテ支那經濟ノ復興建設ノ爲ニ相當ノ力ヲ貸シ遣ルニアリ但シ救助ト謂フモ現金ニテ之ヲ貸シ與フル場合右ハ(現政府ハ之ヲ望ムヘシ)結局軍閥ノ私腹ヲ肥ヤシ内亂ヲ助長シ西原借款ノ轍ヲ踏ミ第一ノ國民ノ負擔ヲ増加シ怨ヲ貽ス惧アレハ絶對不可ナリ宜シク經濟復興建設ノ爲ノ例ヘハ鐵道敷設水利開墾事業等ニ材料機械乃至ハ技術等ヲ提供スヘキナリ尤モ中國側ニ依然トシテ對日反感存在シ而モ日本側ニモ絶對排日絶滅ヲ主張スル者アル今日到底實行ノ見込無カルヘキヤニ思ハルモ國民政府トテモ本問題ノ

爲ニハ滿洲問題等ト謂フ面子問題以上ニ實際的非常ノ痛苦ヲ嘗メ居ル次第ナレハ日本側ノ出方一ツニテハ從來ノ行懸ヲ捨テテモ日本ノ援助ヲ請ヒ進ンテ兩國經濟合作ニ誠意ヲ示スニ至ルヘシト思料ス云々ト語リ居タル趣ナリ

右ハ周ニ於テ日本人側ノ意見ヲ聽キタル結果思付キタルモノナルヘク必スシモ支那銀行家側ノ意嚮ヲ表明シ居ルニアラストモ存セラレ此ノ點更ニ取調ノ要アルモ何等御参考迄北平、南京へ轉電セリ

486 昭和10年1月28日 在中國有吉公使より
廣田外務大臣宛(電報)

中國側の対日財政援助要請に関する観測について

上 海 1月28日後発
本 省 1月28日後着

第七三號

南京發閣下宛第五一號及第五二號ニ關シ
二十八日堀内ヲシテ張福運ニ對シ當地支那銀行家ノ一部ノ者ハ南京政府部内ニ於テハ銀問題ニ關シ英米ノ援助ノ見込ナキヲ以テ日本ノ援助(借款供與ヲモ含ム)ヲ求ムヘシトノ

議アル旨日本銀行家ニ内話シ居ル趣聞込ミタルカ右ニ付何等心當アリヤト尋不シメタル處張ハ宋子文ニハ先週金曜會ヒタルカ何等左様ノ話ヲ聞カス尤モ宋ハ財政部長ナラサレハ是等ノ議ニ參與セサルコトモアルヘク何レ何等カノ聞込アレハ知ラスヘシト述ヘ居タル趣ナルカ本件往電第六八號周ノ話振等ニモ鑑ミ或ハ李十一邊リノ思付ニテ孔汪兩人ニテ考案ヲ運ラシ居ルモノナルヤニモ考ヘラル引續キ取調中ナルモ不取敢

南京、北平ニ轉電セリ

487 昭和10年1月29日 在中國有吉公使より
廣田外務大臣宛(電報)

宋子文の銀問題に関する悲觀的観測について

上 海 1月29日前着
本 省 1月29日前着

往電第七二號ニ關シ
第七四號

去ル十五日船津、吉田、宋子文ト會談中銀問題ニ關スル要領ニ關シ

一、吉田ヨリ國際貸借ノ不利ハ平時ニ於テハ銀流出ノ原因ナルモ今同ノ銀流出ノ根本原因ハ米國ノ銀買上策ニシテ直接ノ原因ハ(イ)米國其ノ他ノ外國ニ於テ支那ノ銀ヲ投機的ニ買入ルルコト(ロ)銀貨ノ平價切下ヲ懸念スル資本ノ海外逃避ハ支那ノ銀カ海外ニ比シ安キ爲投機的輸出ヲ誘致スルコト並ニ(ニ)以上(ロ)及ハ(ニ)基ク密輸出又ハ「ホールデング」ニ存スル旨ヲ説明シタルニ宋ハ大體之ヲ首肯セリ
二、吉田ヨリ今日ノ銀高カ一九一九年乃至二〇〇年ノ其レニ比シ異ナル點トシテ(イ)前者ニ於テハ一種ノ商品タル「兩」カ通貨ナリシヲ以テ平價切下ノ懸念ナカリシコト(ロ)外國銀行發行ノ餘リ多カラサル紙幣カ流通シ居タルコト(ハ)輸出稅又ハ平衡稅存在セス密輸ヲ誘致セサリシコト及(ニ)銀高ハ「ボンド」金「弗」其ノ他ノ金貨ノ價值低落ニ基キ他ノ商品ハ高價ナリシコトヲ指摘シ宋子文之ヲ首肯セリ
(イ)吉田ヨリ銀問題ノ爲ニ英米ヨリ借款ヲ得ルコトノ當分困難ナル點ヲ指摘シ日本カ參加シテ協同援助ヲ得ルヨリ外タルモ同時ニ日本ノ參加ニハ英米支ノ内ノ何レカノ方面ヨリ反對アルヘシト附言シ居タリ

四、吉田ヨリ現在ニ於ケル極度ノ金融梗塞状態ヲ説明シ此ノ
舊正月ハ辛ウシテ切抜ケ得ルモ此ノ儘ニ放置セハ三月乃
至五月ニハ金融恐慌ヲ免レ難シト思考スト述ヘ宋モ全然
同感ノ意ヲ表シタルカ結局銀問題ニ付テハ國內對策ナシ
ト言フニ一致シタルモ宋ハ對米抗議ヲ爲スニハ躊躇ノ色
ヲ示シ居タル模様ナリ

南京、北平へ轉電セリ
ト言フニ一致シタルモ宋ハ對米抗議ヲ爲スニハ躊躇ノ色
ヲ示シ居タル模様ナリ

南京、北平へ轉電セリ

488 昭和10年2月2日 在南京須磨總領事より
廣田外務大臣宛(電報)

黄郛や孔祥熙による対日財政支援要請には張
公権が唱える日中經濟提携論の影響があると
の情報について

南京 2月2日後発
本省 2月2日後着

第一一號

往電第五一號及第九八號二關シ

黄郛及孔祥熙對日借款申出ハ如何ナル經緯ニ基クモノナリ
ヤ探査中ナリシカ一日吳震修^(翁)ノ館員ニ語ル處ニ依レハ右ハ

米ヨリ紐育ヘ英ヨリ佛ヘ暗送アリ度シ

編注 本電信起案当初、「状態ニアリ」の後に統けて「サレ
ハ此際日本カ列國ニ率先シ支那援助ヲ考慮セラル、コ
ト日支關係好轉ヲ促進スル所以ナリト思考ス右ハ自分
限リノ非公」と記されていたが、最終的にこの部分は
削除され、「ト内話セリ」と加筆して發電された。

490 昭和10年2月5日 在中國有吉公使より
広田外務大臣宛(電報)

黄郛の須磨總領事に対する財政援助要請は私案
であり政府の意向ではない旨同人言明について

上海 2月5日後発
本省 2月5日後着

第一〇九號

南京發閣下宛電報第五一號ニ關シ

三日本使黃郛ト會談ノ節序ニ右銀問題援助云々ニ關スル黃
申出ノ經緯ニ付質シタルニ黃ハ實ハ從來日本側各方面ヨリ
支那側サヘ對日態度ヲ改ムルナラハ日本ハ物質上ニモ精神
モ免レ好都合ナルヘシト語レリ

張公權力過般來寧ノ際各方面ヲ巡リ日支經濟提携ノ必要ヲ
力説シタル結果ニ依ルモノニシテ張ト政府トノ間ニハ今同
完全ナル了解成立シ張ハ銀行團ヲ率キテ政府ノ援助ヲ誓ヒ
在英國斎藤大使宛(電報)
489 昭和10年2月5日 在英國松平大使宛(電報)
孔祥熙による対日借款要請について
南京發本大臣宛電報第九八號要領
合第九八號(極秘)
本省 2月5日後2時発
南京發本大臣宛電報第九八號要領
一月三十一日須磨孔祥熙ト會見ノ際孔ハ銀問題ノ難關切抜
策ヲ講シ居ル處米國トハ「シルバー、セネターズ」サヘ説
得セハ何トカナルヘシト思考シ尙執拗ニ話合繼續中ナルモ
交渉前途ハ豫測シ得サル一方英國銀行團ヨリ爲替資金ノ融
通ヲ受ケムトスル話モ同國政府ノ許可ナキ由ニテ行詰リノ
狀態ニアリト内話セリ

ツコトノ早計ナル次第ヲ可然説示シタルカ要スルニ右黃ノ申出ハ事實政府側ノ意圖ヲ傳ヘタルカ如キ計畫的ノモノニアラサル様認メラレタリ貴電第一七號ノ次第モアリ爲念北平、南京ニ轉電セリ

491 昭和10年2月6日 在中國有吉公使より
廣田外務大臣宛(電報)

上海銀行家は日本の財政援助を考慮していな

い旨の内話情報について

上 海 2月6日後発
本 省 2月6日後着

第一一號
往電第六八號及往電第七三號ニ關シ

岩井領事ヲシテ銀行家ノ意見ヲ聽取セシメタル結果左ノ通りシテ當地銀行界要路ニ於テハ今ノ處銀問題等ニ關シ日本側ノ援助ヲ具體的ニ考慮シ居ラサルモノト認メラル
(ベタク)チヨウシヨウメイ(交通銀行營業部長爲替平衡委員)

上海ノ金融關係ヨリ云ヘハ此ノ際外國ヨリ金融借款等ヲ受クル必要モナク生產業ノ健全ナル建直リヲ待テハ信用

狀態モ漸次恢復安定スヘク大シテ神經ヲ病ム要ナシ上海以外ノ内地金融事情ハ概シテ良好ナリ

二、李銘

金融安定ノ爲ニハ別ニ借款ノ要ナキカ國家財政上ヨリ云ヘハ金融梗塞ノ現狀ニテハ內債ノ發行及銀行ヨリノ融通等ハ困難ナレハ外債成立ハ必要ナルヘク借款成立セハ上海金融界ニモ好影響ヲ齎スヘキモ英國ハ二年間米國ハ三年間外債應募ヲ禁セラレ居レハ是等ノ國ヨリノ借款ハ不可能ナルヘシ

三、張公權

南京政府カ英、米ト借款交渉中ナルヤニ傳ヘラルモ英、米ニハ之ニ應スル餘力アリト思ヘス日本モ然ラン金融梗塞スルモ政府カ財政難ニ陷ル虞無シ現在内債ノ關稅收入等ヨリ償還ヲ見居ルモノ年額一億萬元ナル處市面不況ノ際他ニ投資物モ無ケレハ政府カ一億乃至二億ノ内債ヲ發行スルモ消化力ハ充分アリ國民政府及北平政府時代ノ内債共ニ高値ヲ維持シ居ルコトハ此ノ間ノ事情ヲ窺フニ足ルヘシ日支經濟關係ヲ緊密ニスル爲ニハ支那特產物ノ日本ヘノ輸出増進ヲ計リ自然ニ日本ヨリノ輸入モ增大スル

様工夫ヲ凝スコト必要ナリ支那ノ繁榮無クシテ共榮モ無ケレハ日本側ノ努力ヲ望ム

四、錢永銘

民國十六年以來政府ハ屢借款ヲ企圖セシカ借款條項力中央ノ討議ニ上ル場合例外無ク黨部ヨリ反對出テ結局失敗

ニ歸シ其ノ内關稅ノ增加等ニテ專ラ内債主義トナレリ國民黨内部ハ數派ニ分レ極メテ複雜ニテ外債借入等ノ如キ

黨派的反對ノ爲仲々困難アリ日本カ經濟的積極策ニ出ルナラ支那側ニテモ之ニ合作スル親日派ハ幾ラモアレト要ハ徹底的ニ援助サルコトカ肝要ナリ日本ト手ヲ握リシモ其ノ後ノ日本ノ政策變更ニ依リ窮地ニ陥リシモノハ多數アリ西原借款ノ不首尾其ノ他日支合辦事業ノ不成績等ヲ顧慮シ充分研究ヲ遂ケタル上四圍ノ事情ヲモ慎重考慮ニ入レ機會到來ヲ待チテ着手サルルナラ歐米派不人氣ノ折柄良結果ヲ擧ケ得ルモノト思考ス

南京へ轉電シ北平へ暗送セリ

492 昭和10年2月27日 在南京須磨總領事より
廣田外務大臣宛(電報)

孔祥熙の対日借款要請に關し許建屏財政部統務司長が具體化を要請について

付 記 二月二十八日開催

中国銀問題に関する外務・大藏両省關係者による第二回打合會討議要領

南 京 2月27日前發
本 省 2月27日前着

第一九五號

往電第九八號ニ關シ

二十六日他用ヲ以テ許建屏ト會見ノ際許ハ先日孔部長ヨリ輕ク觸レタル日本ヨリノ借款ニ關シ何等御話ヲ承リ得ヘキヤト尋不タルヲ以テ本官ヨリ冒頭往電孔部長ニ對スルト様ノ趣旨殊ニ日支關係ノ正常化ヲ實證スルコト先決問題ナル旨ヲ以テ應酬セル處許ハ私見ナルモ(但シ部長トハ話濟ノ由)現在ノ財政的窮状打開ノ爲支那ハ外國ヨリノ借款ナリ外途無キ次第ナル處「コンソシアム」ハ死物モ同然ニテ内部關係餘リニ複雜ナレハ之ニ依存シ難キ一方米國モ對支借款ニ色良キ態度ヲ見セサルニ付結局日本ニ頼ルノ外無キ始末ナリ(一現在支那ノ有スル約七億弗ノ稅收中二億六千

三百萬弗即チ約三分ノ一ハ外債ノ支拂ニ充テラレ居ル實情ナルモ一九三六年未ニ至レハ庚子賠款關係ノ支拂モ完了スルヲ以テ夫レ迄ノ一時凌キニ二億乃至三億ノ融通ヲ受ケタシ(二)日本ノ支那產業支配ト言フカ如キ無用ノ誤解ナリ「イリテーション」ナリヲ避クル爲右借款ノ一部ハ之ヲ低利且長期間ヲ以テ對日債務ヲ整理スルノ資金ニ充ツルコトトシ(三)實際上ハ右整理ト併行シテ其ノ大部分ヲ生產事業例ヘハ棉花ノ增産等ニ振向クルコト可然ト思考スト述ヘタルヲ以テ本官ヨリ之ノ機會ニ先ツ舊債整理ノ急務ナルヲ說示スルト同時ニ前記ノ趣旨ヲ繰返シ會見ヲ終レルカ許ハ更ニ右「ライン」ニテ具体案ヲ得ル見込アラハ部長ハ何時ニテモ話ニ乗出シ度キ所存ナリト附言シ居タリ
支、北平ニ轉電セリ

(付記)

銀問題第二回打合會(大藏省參加)
二月二十八日午后於東亞局長室
大藏省ヨリ湯本國庫課長及櫛田事務官出席、外務省ニテハ桑島東亞、來栖通商兩局長、横竹商務參事官、守島東

ナルモ一九三六年未ニ至レハ庚子賠款關係ノ支拂モ完了スルヲ以テ夫レ迄ノ一時凌キニ二億乃至三億ノ融通ヲ受ケタシ(二)日本ノ支那產業支配ト言フカ如キ無用ノ誤解ナリ「イリテーション」ナリヲ避クル爲右借款ノ一部ハ之ヲ低利且長期間ヲ以テ對日債務ヲ整理スルノ資金ニ充ツルコトトシ(三)實際上ハ右整理ト併行シテ其ノ大部分ヲ生產事業例ヘハ棉花ノ增産等ニ振向クルコト可然ト思考スト述ヘタルヲ以テ本官ヨリ之ノ機會ニ先ツ舊債整理ノ急務ナルヲ說示スルト同時ニ前記ノ趣旨ヲ繰返シ會見ヲ終レルカ許ハ更ニ右「ライン」ニテ具体案ヲ得ル見込アラハ部長ハ何時ニテモ話ニ乗出シ度キ所存ナリト附言シ居タリ
支、北平ニ轉電セリ

(一)現銀ヲ貸スコト

現在政府ノ處分シ得ヘキ銀ハ各特殊銀行等ニ散在スルモノヲ蒐集シテ三千六百萬「オヌス」金額ニシテ大約五千萬元アリ(固ヨリ民間ノ所有ニ屬スルモノハ之ヲ除外ス)而テ產銀量ハ昭和九年十四萬三千廷ニシテ逐年金ノ增産ニ伴ヒ增加ノ傾向ニアリ銀輸入狀況ヲ見ルニ特ニ注目スヘキハ最近ニ於テ支那方面ヨリ朝鮮ニ密輸セラル馬蹄銀及銀元カ著シク增加セル事實ニシテ此等ハ造幣局ニテ精製ノ上再ヒ輸出(主トシア倫敦向)セラルモノナリ(造幣局ニテ精製セル馬蹄銀、客年十月迄皆無、十一月一萬七千、十二月十八萬、本年一月七萬廷、外國銀貨十一月六萬七千、十二月一萬九千、

亞局第一課長、松島通商局第一課長及係官出席シ主トシテ本問題ニ關スル大藏省側意見ヲ聽取セリ

大藏省側意見左ノ如シ(二)ハ特ニ極秘トセラレ度キ趣ナリ本問題ニ關シ日本側援助ノ要否竝支那ノ現狀及事態惡化シ例ヘハ恐慌起リタル際ニ於ケル影響如何ハ更ニ考究ヲ要スル處日本トシテ此際如何ナル援助ノ手アリヤヲ考フルニ左ノ如シ

(二)金資金貸與
我國ノ國際收支勘定ヲ見ルニ對外投資ノ收益及回收、海運收入、移民ノ送金等收入ハ入超ヲ控除シテ尙餘リアリ假ニ此ノ剩餘ヲ二億二、三千萬圓トスルモ臨時支拂トシテ本年度ハ滿洲事件關係ノ海外拂八千萬、北鐵買收資金二千八百萬、對滿投資關係二億萬、其他社債減債基金ニ對スル拂込モアリ對支借款乃至ハ資金流出ヲ惹起スル如キ「クレヂット」設定ハ少額ナラハ免モ角何千萬ト言フカ如キモノハ先ツ不可能ト云フノ外ナシ明年ニ付キテハ今ヨリ豫想困難ナルカ大体今年ト變ラサルヘシ(北鐵買收資金ノ減少其ノ他ニテ本年ニ比シ勘定尻改善ノ望ナシトセス)
(三)「ビズネス、クレヂット」
同シ「クレヂット」ニテモ内地資金ノ流出ヲ伴サル「ビジネススクレヂット」ノ如キモノナラハ可ナランカ、之ハ要スルニ輸出品ニ對シ延拂ヒヲ承諾スルニ等シ、

尙右大藏省側談語アリタル後左ノ如キ意見ノ交換アリタリ
一、日支貿易ノ調整
尤モ支那力信用ニテ輸入セル商品ヲ再ヒ賣ルカソレトモ自身ニ於テ使用スルカニ依リ當方トシテモ異レル覺悟ヲ要スヘシ
尙右大藏省側談語アリタル後左ノ如キ意見ノ交換アリタリ
一、日支貿易ノ調整
今次ノ支那ノ金融梗塞ハ支那ノ入超莫大ナルコトカ其ノ一因ナレハ支那側カ早晚輸入稅引上其ノ他ノ手段ニ依リ輸入制限ヲ企圖スヘキコトハ容易ニ想像シ得ル所ナルカ我國ハ之ニ對シ日支貿易ノ關斯ル限り日本ヨリノ輸入ヲ阻止セス日本ヘノ輸出ヲ増進セヨトノ趣旨ニテ應酬シ日本カ從來第三國ヨリ輸入シ居リタル原料等ニテ支那產品ヲ以テ代用シ得ルモノアラハ之ヲ利用シテ支那ノ日本品輸入制限ヲ思ヒ止マラシメ所謂廣義ノ「バーチー、システム」(嚴格ナル意味ニ於ケル「バーチー」制即チ爲替決濟等ニ依ルモノハ實行不可能ナルヘシ)ヲ採用シテ日支貿易尻調節ヲナシ得ヘク日本ガ右特ニ支那ヨリ購買シ得ベキ商品如何ニ付テハ更ニ考究シ適當ニ民間ヲ指導スルコト必要ナルヘシ

平衡税是非二付同税ハ客年末銀流出ヲ停止スルニ與ツテ

力アリタルモ今後尙繼續セシムヘキヤ否ヤ論議一定セス

平衡税額ハ毎日決定セラルモノニ付對支爲替相場ノ變

動ヲ擴大シ貿易ヲ阻害ストノ論アリ惹テハ之ニ依リ日支

双方共貿易上ノ不利ヲ蒙ル惧アルヘキ處之ガ矯正策トシ

テ(一)平衡税ヲ全廢シ銀ノ自由流通ヲ許スヘシトスルハ經

濟理論上正シカラムモ各國ノ採リ居ル經濟政策ノ現状ニ

鑑ミ實行不可ナルヘク(二)銀輸出禁止ハ支那貿易ガ先進國

ト異リ現銀ヲ離ル能ハサル實情及密輸ヲ防止スルコト

不可能ナル實情ニアルヲ以テ實行不可能ナルヘシ(若シ

實行出來得レハ支那側ノ金融危機對策トシテ理論上理想

的ナルヘキモ)

(三)銀價ノ突發的變動ノ危險性減少セル今日ニ於テハ平衡

稅ヲ廢シ輸出稅引上ニ依リ銀ノ事實上ノ輸出ヲ防遏スル

ト共ニ貿易上ノ不安ヲ除去スルヲ大体ニ於テ可トスヘキ

ヤニ認メラル

493 昭和10年3月6日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

關稅收入ヲ擔保トシテ借款致度之以上ノコトハ日本側意向
ヲ承知セル上ニテ申上ケ度シト述ヘ居タリ
尙其ノ際孔ハ支發貴大臣宛電報第一一二號借款ノ件ハ否定
シ居タリ
支、北平ニ轉電セリ

494 昭和10年3月11日 在中國有吉公使より
広田外務大臣宛(電報)

孔祥熙が財界人を招集し対中國際借款問題を

討議について

上海 3月11日後発
本省 3月11日後着

*第二二七號(極秘)

往電第二二六號ニ關シ

右會談ノ後唐有王ハ有野ニ對シ十日孔祥熙招集ノ下ニ當地

財政部辨事處ニテ銀行業者實業家各二十餘人參集シ談話會

開カレタル次第ヲ告ケ(十日ノ各新聞ニハ市面救濟問題討

議セラレタル旨報道シ居レリ)右會議ニ於テ(一)英國申出ノ

國際借款問題ニ付討議セラレ又(二)孔祥熙ヨリ幣制改革ノ爲

對中借款に關する我が方意向を孔祥熙打診に

ついて

南京 3月6日後発

本省 3月6日後着

第一三八號

往電第九八號及第一九五號ニ關シ

六日孔祥熙ト會見セル處孔ハ銀政策ニ關スル支那側提議ニ

對シ米國政府ハ米國單獨ノ問題ニ非ストテ取り合ハス又最

近ノ日支關係好轉說ニ刺戟セラレテ香上銀行等力動キ出セ

ル氣配ハアルモ英國モ元來對支借款ニハ支那幣制ノ整備ヲ

先決要件トスルト主張シ居レハ先ツ見込無シ結局日本ニ賴

ルノ外無キ處日本側ニテ主張スル條件ニテモアラハ承知致

度シト述ヘタルニ付本官ヨリ大体往電第九八號應酬ヲ繰返

セルニ孔ハ實ハ漢口ニ於テ明年度豫算ニ付協議ノ際毎月一

千八百萬弗ニ達スル不足ヲ「カバー」スル爲ニハ多額ノ内

債ヲ起スノ外無シトノ結論ニ達セル次第ナルカ支那銀行ヨ

リ資金ヲ借入ルルトセハ一割以上ノ高利ヲ支拂ハサル可カ

ラス依テ主トシテ幣制ノ整理市場ノ回復生產ノ増加等ニ使

用スルノ目的ヲ以テ外國ヨリ多額例ヘハ五億乃至十億弗ヲ

495 昭和10年3月12日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

幣制改革問題に關する宋子文との会談内容に

ついて

南京 3月12日後発

本省 3月12日後着

第二五七號

十一日上海ニ於テ宋子文ト會談セルカ要旨左ノ通
一、宋ヨリ支那ノ財政狀態ニ付縷述セル上自分等ハ

(イ)幣制改革ノ要否及右カ可能ナリヤ否ヤ

(ロ)改革ニ要スヘキ資金ハ外國借款ニ俟タサル處借款ハ單

獨トスヘキヤ共同タルヘキヤ

ノ二點ニ付考慮ヲ加ヘ居ル次第ニテ十日孔祥熙自分其ノ

他財界有力者ノ參加セル會合ニ於テハイハ必要ナルモ先ツ發券制度ノ統一小洋ノ廢止金爲替本位制ノ採用等ヨリ始ムルノ要アレハ多額ノ資金ヲ用意セサル可カラスト云

フニ一致セリ從テ自分ノ承知致度キハ

(一)滿洲ノ幣制改革ニ成功セル日本カ支那ニ於ケル同様ノ

目的ノ爲單獨ニテ借款ニ應スルノ意嚮アリヤ

(二)若ハ列國共同ノ借款ニ日本カ參加スヘキヤ

ノ二點ナリト尋不タルヲ以テ

三、本官ヨリ全然私見ナリト前提シテ支那ノ政治的及經濟的現狀ヨリ見テ又支那カ傳統ニ支配セラル國柄ナル點ヨリ推シ「ケメラ」報告ノ如キヲ實行セントスルハ不可能ナリト斷スルノ外無ク又端的ニ云フニ支那當局者ハ斯

496 昭和10年3月15日 広田外務大臣より 在中華人民共和国に於て不利益の旨汪兆銘に注意喚起方訓令

第六九號

本省 3月15日後4時發

一、支那ノ實情及世界金融界ノ趨勢ニ顧ミ差當リ支那幣制ノ改革カ問題トモナリ得サルコトハ勿論支那側ノ受諾ノ可能ナル條件ニテ纏リタル外國借款成立ノ見込ナキコトモ殆ト疑ナシト認メラル(此ノ點ニ付テハ本省係官ニ於テ最近改メテ大藏省側ト共ニ研究ヲ遂ケタリ尙往電合第一三九號、在米大使發本大臣宛電報第一二四號及北平發本大臣宛電報第七〇號ノ一ノ末尾「ジョンソン」談話等參照)然ルニ拘ラス宋子文孔祥熙等ハ英國ニ對シ二千萬磅借款ヲ申出テ又客年十一月二十一日附米一普通合第一六七〇號ノ如ク米國ニ對シ幣制改革ニ對スル援助ヲ申出テ何レモ拒絕セラレタル外南京發大臣宛電報第九八號第一九五號第二五七號第二六三號及貴電第一二七號等ノ如キ全然現實ニ即セサル夢ノ如キ不眞面目極マル策動ヲ續ケ居ル處前記ノ次第モ顧ミ斯種策動成功ノ如キハ萬々アルマシキモ之力爲最近蔣汪黃等指導ニ依リ折角親日化シ來レル支那ノ空氣ヲ混亂セシメ又外國側カ此等策動ニ刺戟セラレテツマラヌ政略的工作ニ出テ來ル(南京發本大

臣宛第一六三號末尾參照尙往電合第一三八號英國政府ノ申出自体カ支那側ノ斯種策動ニ誘致セラレタルモノトモ見ラル等國內的ニ又國際的ニ種々面白カラサル影響ヲ生スルコトヲ免レサル次第ニシテ汪兆銘等比較的眞面目ナル歩調ヲ執ラムトスル向ニ於テ迷惑トシ居ルハ尤モナルノミナラス我方ニ取リテモ甚々好マシカラサル義ナルコト申ス迄モナシ尙又宋孔等ハ英米ヨリノ借款ノ見込アルヤニ蔣汪等ヲ「ミスインフォーム」シ居ルカ如キコトモ想像セラル三絆上ノ次第ニ顧ミ此ノ際汪兆銘等ラシテ事態ヲ正解セシメ宋孔等ノ策動乃至外國側ノ政略的工作ニ乘セラシムルト共ニ支那ニ關スル問題ハ萬事日支間ノ意思疏通ヲ前提條件トスヘキコトヲ此上共印象スルコト肝要ト認メラルニ付孔等ノ現實ニ既セサル無責任ナル策動ハ外國ノ心アルモノニ對スル支那ノ信用ヲ失墜スルノミニテ有害無益ナルコトヲ非公式ニ支那側ニ注意シ置クコト可然且又往電合第一三八號英國側ノ我方及米國等ニ對スル申入ノ眞相(即チ英國側カ對支借款反対ノ意見ヲ明示シ居ル點)在米

ノ如キ計畫ヲ眞面目ニ實行スルノ意思無ク徒ニ日支關係ノ好轉ヲ口ニシツツ借款ヲ云爲スルハ結局失望ト反動ト誘致シ却テ兩國關係ヲ面白カラサラシムル處アリ又日本ハ列國及支那カ日本ノ東亞ニ於ケル地位ヲ正當ニ認識シテ其ノ協調ヲ求メ來ル場合之ヲ拒否スルモノニハ非スト應酬セル處

三、宋ハ具体的計畫トハ何ヲ指サルモノナリヤト尋不來レルニ付本官ヨリ支那側カ兩國關係ヲ好轉セシムル誠意ヲ有シ產業開發生産增加ヲ希望シテ例へハ棉花問題ニ付日本ノ援助等ヲ申出ツルカ如キ場合ニハ日本モ乗出シ來ル可シ漫然タル借款ヲ流布スルハ却テ他國ノ誤解ト猜疑ヲ買フ所以ナリト申聞ケタルニ宋ハ此ノ點ハ同感ナレハ更ニ貴官ノ所謂具体的計畫ニ付テモ考慮ヲ加ヘ度シト答ヘ居タリ~~~~~

大使發本大臣宛電報第一二四號米國側ノ態度(即チ米國側カ對支借款反対ノ英國側ノ意見ニ贊成シ居ル點)北平發電報第七〇號ノ一末尾(即チ英米其ノ他ノ國ト雖此ノ際對支借款ニ應スルカ如キコトナカルヘシ云々ノ點)等ヲ表立タサル適當ノ方法ニ依リ汪兆銘乃至同人ノ周圍ニ響カセ置クコトモ適當ト存ス就テハ御裁量ニ依リ可然御措置相成度

付テハ英米等ニテモ大体同様ノ見解ヲ有シ居ルハ事實ナルカ彼等ハ支那側ニ對シテハ右ノ見解ヲ其ノ儘通セス支那救濟ノ爲ノ外國借款成立ノ可能性ニ付關係國間ニテ研究スヘシト申入レ恰モ借款供與ノ用意アルカ如キ旨ヲ仄シ居ル實狀ナリ

三、他方支那側ニ於テハ政府當局ハ外債成立ノ可能性ニ付ハ未タ確信無キモ之カ成立ヲ希望シ居ルハ當然ナルヘク一方汪一派ハ我方トノ關係上我方ノ態度未定ノ今日借款談ニ深入リスルヲ差控ヘ居ルニ對シ宋子文孔祥熙等ハ財務當面ノ責任上乃至自家勢力増進ノ爲英米方面ニ對シ借款運動ヲ爲シ居ル處汪一派トシテハ自家勢力ノ維持上彼等ノ借款運動ノ成功ヲ喜ハサルコト勿論ナルカ十七日許

卓然カ有野ヘノ内話ニ依レハ先月末宋孔漢口行ノ節蔣介石ハ之ニ對シ外債成立斡旋方ヲ依頼セル趣ニモ鑑ミ(往電第二一九號參照)此際我方ニ於テ外債ヲ問題トセストノ態度ヲ表示シ

之ニ依リ汪一派ヲシテ宋孔等ノ借款運動ヲ阻止セシムルコトハ彼等カ浙江財閥ト充分ノ聯絡無キ現狀ヲモ考ヘ殆ト不可能事ナルノミナラス之ニヨリ我方獨リ頗ル不利ナル各種ノ事態ニ對スル今迄ノ「ゼスチユア」等ニモ鑑ミ彼等カ支那側ニ對シ自ラ率直ニ其ノ眞意ヲ表明セサル限り不必要ノ誤解ト紛糾ヲ求ス虞アル外^(外次)交上ノ信義ノ問題トシテモ感心出來ス結局前顯往電裏申ノ如ク各國間ノ個別^(マニ)招來スヘキコト往電第一四九號ノ三末段ノ通りナリ

三、尤モ冒頭貴電ノ二後段ノ如ク此ノ際我方ヨリ汪一派ニ對シ英米側ノ借款反対ノ眞意ヲ響カセルニ於テハ前記ノ如キ不利ヲ幾分緩和シ得ヘキヤニ存セラル處右ハ英米側ノ任意的話合ノ結果借款ハ問題トナラストノ結論ニ達シ支那側各方面ヲシテ借款ヲ諦メシムルコト最機宜ノ策ト存セラル

497 昭和10年3月18日 在中國有吉公使より
広田外務大臣宛(電報)

宋子文・孔祥熙の國際借款要請活動に対する
汪兆銘への阻止方要求は種々の面から我が方に不利のため再考方意見具申

上海 3月18日後発
本省 3月18日後着

貴電第六九號ニ關シ

一、支那ノ受諾シ得ヘキ條件ニテ纏リタル外國借款成立ノ見込無キコト及此際外債ニ依ル支那救濟ノ見込無キコトニ

498 昭和10年3月21日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

中央・中国・交通の三銀行への增资を目的とした一億元金融公債発行案に関する孔祥熙の新聞談話について

南京 3月21日後発
本省 3月21日後着

第三〇八號

十六日ノ行政院會議ハ財政部提出ノ金貨公債發行案ヲ議決シタル處二十日中央政治會議ニ於テ右原則ヲ通過シ立法院ノ審查ニ附議スルコトトナレリ

右ニ關シ孔祥熙ハ二十日新聞記者ニ對シ支那ノ商工業力現在ノ如ク危殆ニ瀕シタル原因ハ主トシテ貿易ノ入超ト米國政府ノ銀政策ノ影響ヲ受ケ現銀流出ノ結果金融ノ逼迫ヲ招來シタル爲ナレハ之カ救濟ニハ一面輸出ヲ獎勵シテ入超ヲ減少セシムルト共ニ一面銀行ノ融通資金ヲ増加シテ市場ヲ安定セシムルヨリ外ニ良策無キヲ以テ今回財政部ハ二十四年金貨公債一億元ヲ發行シ内三千萬元ヲ中央銀行一千五百萬元ヲ中國銀行一千萬元ヲ交通銀行ノ増資ニ充當スルコト

及輸出稅ヲ輕減或ハ免除シ且轉口稅ヲ撤廢スルコトノ二案ヲ提議シタル旨語リタル趣ナリ

支、北平、天津、青島、濟南、漢口、廣東、福州、滿洲へ轉電セリ
支ヨリ上海へ轉報アリ度シ

499 昭和10年3月23日 在中國有吉公使より
広田外務大臣宛(電報)

一億元金融公債發行には中央銀行など三行への

管理統制強化のねらいがあるとの情報について

第一六七號
廿三日ADカ中國銀行張肖梅ヨリノ聞込左ノ通
一今般政府ノ一億元金融公債ノ發行ニハ中央ニ於テ中國、
交通兩銀行ノ管理權統制ノ目的モ含マレ居ルモノナル處
右公債ニ依ル政府ノ強制的ナル兩銀行增資案ニ對シテハ
交通銀行側ハ左シテ反對無キモ中國銀行ニテハ强硬ニ反
對シ居レリ

三、孔祥熙ノ案ニ依レハ中央銀行ニ於テ先ツ交通銀行ヲ次テ郵政滙業局ヲ其ノ手ニ收メ(以上ハ比較的容易ニ實行シ得ル見込ナル由)最後ニ中國銀行ヲモ管理セントノ計畫ニテ増資ニ依リ中國銀行株ノ過半數ヲ掌握スル政府ハ否應無シニ張公權ヲ中央銀行副總裁ニ移シ其ノ後金ニハ上海銀行陳光甫ヲ擬セントシツツアルモ陳ハ昨年上海銀行不安ノ際張ヨリ援助ヲ受ケタル義理及上海銀行自體陳ヲ必要トスル理由モアリ未タ就任方承諾ヲ與ヘ居ラサル趣ナリ

上 海 3月23日後発
本 省 3月23日後着

三(2)
右中央銀行ニ依ル中國、交通兩銀行管理權掌握ノ上ハ紙幣發行權ヲ中央ノ一手ニ收メ萬一外國借款不成立ノ場合ハ愈通貨膨脹政策ヲ敢行セン計畫ニテ是等「プログラム」ハ客月末漢口ニ於ケル蔣、孔、宋三者會議ニ於テ既ニ決定シ居タルモノノ如ク右孔等ノ橫暴ナル仕打ニ對シ張公權ハ直接蔣介石ニ打電本計畫ノ中止方懇請スルト同時ニ更ニ政學系、楊永泰、黃郛、張群等ヲ動カシ蔣ニ對シ躍起ノ反對運動ヲ爲シ居ルモ前記ノ經緯ニ見テ恐ラク成功ノ見込無ク早晚上海銀行界ニ一大變動免レサルヘキ模様ノ趣ナリ

本件更ニ確メノ必要モアリ發表セサルコト致度シ

北平、南京へ轉電シ上海へ轉報セリ

500 昭和10年3月26日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

一億元金融公債による中央銀行など三行への
増資計画は孔祥熙・宋子文の主導で進められ
てゐるとの情報について

南 京 3月26日前發
本 省 3月26日後着

第三三二號

往電第三〇八號ニ關シ

二十五日許卓然及陶履謙ノ交々本官ニ語レル處左ノ通

(發表セサル様致度)

孔祥熙ハ先日宋子文ト赴漢ノ際蔣介石ヨリ同意ヲ取付ケタ

リト稱シ本案ニ關スル細目ヲ極秘トシテ行政院會議及中政會議ヲ通過セシメタルモノニテ三銀行ノ增資案ハ汪兆銘サ

ヘ上海ヨリノ張公權ノ電話ニ接シ始メテ承知セル程ナリ
(汪張ノ關係ハ元來密接ナルカ最近日支關係打開ノ氣運動

501 昭和10年4月2日 在中國有吉公使より
広田外務大臣宛(電報)

中國銀行董事長に宋子文就任について

上海 4月2日後発
本省 4月2日後着

第三〇七號

往電第三〇二號ニ關シ

昨日の董事會議ニ於テ孔祥熙ヨリ宋子文ヲ董事長ニ指名

宋ハ即座ニ就職シ引續キ常務董事會議ヲ開催宋董事長ヨリ

常務董事宋漢章ヲ總經理ニ任命セリ尙株主總會ニ於ケル政

府ノ增资額修正決議ニ關シテハ李馥蓀ヨリ孔部長ニ掛合ノ

結果既ニ右應諾方ノ財政部令ニ接シタル趣ナルカ政府今回

ノ一億元公債發行ニ依ル三銀行ニ對スル增资額ノ最後的數

字ハ來ル二十日開催ノ交通銀行株主總會ノ決定ヲ見ルニ非

サレハ判明セサルモ累次往電ノ通同行側ハ最初ヨリ比較的

穩健ナル態度ニ出テ居ルニ顧ミ政府案ヲ鶴呑ニスルモノト

假定セハ三銀行ノ總資本ニ對スル政府所有株ノ割合ハ從來

ノ四九、一「パーセント」(即チ中央銀行ノ一千萬元全部、

中國銀行ノ一千五百萬元中五百萬元、交通銀行ノ一千萬元

中二百萬元)ヨリ七四、五「パーセント」ニ増加シ政府ノ

統制力ヲ增大スル次第ナリ本件ニ關シ二日ノ「デイリー、

ニュース」紙ハ右ハ現下ノ危局ニ最必要ナル銀行政策ノ統

制及資力ノ集中ヲ可能ナラシムルモノトナシ大イニ稱讚シ
且政府ノ不當ナル干涉ノ虞アルモ之ニ對シテハ宋子文ノ公
益ノ觀念ト勇氣トニ信賴シ得トテ宋子文ノ任命ヲ激賞セリ
其ノ他英漢字紙ハ未タ何等論評セス

北平、南京へ轉電セリ

北平、南京へ轉電セリ

502 昭和10年4月4日 在南京須磨總領事より
廣田外務大臣宛(電報)

宋子文・孔祥熙の動向に関する唐有壬内話に

ついて

南京 4月4日後発
本省 4月4日後着

第三五八號

四日唐有壬ノ本官ニ對スル内話左ノ通

宋子文、孔祥熙等ハ汪兆銘、黃郛、張群、熊式輝、張公權、
段錫朋(教育部政務次長及自分ノ七名カ蔣介石ニ取入り居
レハ漸次其ノ關係ヲ打破スル一方日本側トノ連絡密接化ヲ
策スルコト然ルヘシト考ヘ居ル模様ナリ五中全會ノ際宋子
文ハ汪院長ニ對シ財政部長ニ復歸ノ希望アル旨申出タルカ

意見について

上海 4月4日後発

本省 4月4日後着

第三二〇號

往電第三〇七號ニ關シ

汪ハ今少シク日本側トノ連絡ヲ心懸クヘキ旨説示セルコト
アリ最近宋ハ王克敏ニ對シ磯谷武官來任ノ際ハ之ト密接來
往シ得ル様手配方依頼セル由ニテ又吳震脩ニ對シテモ日本
トノ了解力必要ナリトノ意見ヲ述ヘタル趣ナリ

自分ハ黃郛ニ對シ表立タサル以前ニ内争ヲ停止セシムルコ
ト必要ニテ其ノ爲ニハ辭職スルモ差支ナキ旨申出タル處更
ニ一步ヲ進メ積極的ニ孔宋等ノ認識ヲ強メシムル様努力ス
ヘシト慰撫セラレタリ以上ノ實情ナレハ借款問題等ノ取扱
如何ニ依リテハ政變ヲモ起シ兼不マシキ形勢ニアリ

日本トシテハ宋等ノ巧利主義ヲ警戒シツツ或ル程度ノ連絡
ヲ保ツコト然ルヘキモ宋一派ニ利用セラレサルコト肝要ナ
リ英國等ハ此ノ邊ノ要領ヲ心得居リ最近ハ宋等ヲ支持スル
コト日支親善ヲ牽制セシムル所以ナリト認メ居ルカ爲カ
「ランプソン」時代ニハ宋ニ對シ惡聲ヲ放タサル英國人ナ
カリシ實情ナルニ最近ハ鮮カナル約變振ヲ示シ居レリ

503 昭和10年4月4日 在中國有吉公使より
廣田外務大臣宛(電報)

中國銀行など三行への增资に関する宋子文の

(2) 政府ハ三銀行ヲ合併スヘシトノ說アルモ中央、中國及交
通ノ三銀行ハ夫々中央銀行、商業銀行及勸業銀行トシテ

ノ機能ヲ發揮セシムル爲獨立ニ存在セシムルコト必要ナリ

三、支那ハ sound money の原則ヲ嚴守スヘク自分カ職ニ在ル
限り「インフレーション」ヲ行フカ如キコトナシ

四、外國トノ借款ハ到底成立ノ見込ナク此ノ際銀行カ外國銀行トノ間ニ業務ニ必要ナル借款ヲナスコトハ擔保等ヨリ
見テ左迄困難ナカルヘシト思ハル

尙吉田ニ關シテハ宋ニ於テ專ラ銀行家トシテ支那財界ノ建
直シニ盡力シ政治的策動ニ依り事態ノ紛糾ヲ起ササル様注
意スル様仕向タル必要アル旨ヲ申聞ケ置キタリ
北平、南京ニ轉電セリ

504 昭和10年4月6日 在天津川越總領事より
広田外務大臣宛(電報)

通貨発行権の統制による通貨管理政策を孔祥熙・宋子文が推進中との情報について

天 津 4月6日前發
本 省 4月6日前着

第八〇號

支那通貨ノ整頓ナル處中央ノ下ニ發行權ノ歸
一ヲ計リタル上南京政府ノ勢力地域ヲ不換紙幣(脱?)ト化
シ以テ南京政府財政ヲ安定スルト共ニ蔣介石勢力ヲ强大ナ
ラシメントスルモノナリ而シテ右方略ハ今後適時ニ現ハル
ルコト思ハルモ右ハ
⁽²⁾往年張父子財政ノ大規模ノ眞似ニ過キス多分ニ支那通貨、
金融、經濟ヲ混亂スルノ虞アリ現在張公權追出ハ財界ノ極
メテ注意ヲ拂フ所ニシテ支那通貨ハ目先悲觀ノ向多シ尙

561

四

中国幣制改革

「カドガソ」等ト借款ヲ(脱?)孔宋等ノ爲ニ日本關係ノ張
公權カ日支空氣好化ノ聲高キ折柄退ケラルハ皮肉ニ堪ヘ
ス云々ト語レリ

更ニ前記秘密方略ニ付テハ當地有力支那銀行支店長ヨリモ
聞込ミタルカ同人ハ宋子文ノ中國銀行乗込ニ對シ一種ノ危
険感ヲ抱クモノアルモ是等方略ハ急激ニ斷行スルモノニア
ラサルヘキヲ以テ大混亂ヲ招クカ如キコトモナカルヘク又

最重要ナル發行權ニ付考慮スルニ第二段ノ方略迄ハ現在中
國銀行紙幣ハ本支店トモ其ノ所在地限リ通用スルニ止マ
ルヲ以テ假ニ増發ヲ行フトシテモ上海本店ニ限ラレ且上海本
店ニ於テ實需ヲ無視シテ增發ヲ行フトキハ消化難ラ來シテ
直ニ銀行ヘ廻流シ來ルヘキノミニナラス場合ニ依リテハ紙幣
取付ヲ誘發スル虞アル等何等實益ヲ齎ササルヘキニ付實際
問題トシテ「インフレ」ヲ企圖スルカ如キコトハナカルヘ
ク從テ夫レ迄ハ左程心配スルニモ當ラサルヘシ唯問題ハ
「インフレ」カ完全ニ遂行シ得ル第四段ノ方略ニ入ルトキ
ニシテ其ノ際ハ抑モ本件方略最後ノ目的カ大「インフレ」
ニアルヲ以テ大イニ警戒ヲ要スヘシト申述ヘタリ

支ニ轉電シ北平、南京、青島、漢口、廣東、福州ニ暗送セ
某要人ノ内話ニ依レハ張公權ノ中國銀行追出ハ豫テ蔣介石
ノ共匪討伐及軍備擴張等ニ依リ毎月一千五百萬元年額三億
元ノ赤字ヲ生シ居レル南京政府ノ財政對策並ニ蔣介石強化
方策トシテ孔宋兩人之ヲ立案シ蔣ノ決裁ヲ經タル秘密方略
ノ現レナルカ右方略ハ四段ニ分レ第一段ハ政府ノ財政政策
遂行上唯一ノ障碍タリシ中國銀行ヲ完全ニ政府ノ節制下ニ
置クコト第二段ハ中央、交通、中國以外ノ發券銀行ノ發行
稅ヲ發行ノ妙味ナキ迄引上ケ事實上發券停止ニ陷ラシム
コト第三段ハ現在發行ノ本支店所在地限リ流通スル紙幣ヲ
廢シテ本支店共通新紙幣ヲ發行スルコト第四段ハ前記三特
殊銀行ノ發行權ヲ中央銀行ニ歸一スルコトナリ居リ歸ス
ル所ハ金融ノ統制通貨ノ整頓ナル處中央ノ下ニ發行權ノ歸
一ヲ計リタル上南京政府ノ勢力地域ヲ不換紙幣(脱?)ト化
シ以テ南京政府財政ヲ安定スルト共ニ蔣介石勢力ヲ强大ナ
ラシメントスルモノナリ而シテ右方略ハ今後適時ニ現ハル
ルコト思ハルモ右ハ
⁽¹⁾某要人ノ内話ニ依レハ張公權ノ中國銀行追出ハ豫テ蔣介石
ノ共匪討伐及軍備擴張等ニ依リ毎月一千五百萬元年額三億
元ノ赤字ヲ生シ居レル南京政府ノ財政對策並ニ蔣介石強化
方策トシテ孔宋兩人之ヲ立案シ蔣ノ決裁ヲ經タル秘密方略
ノ現レナルカ右方略ハ四段ニ分レ第一段ハ政府ノ財政政策
遂行上唯一ノ障碍タリシ中國銀行ヲ完全ニ政府ノ節制下ニ
置クコト第二段ハ中央、交通、中國以外ノ發券銀行ノ發行
稅ヲ發行ノ妙味ナキ迄引上ケ事實上發券停止ニ陷ラシム
コト第三段ハ現在發行ノ本支店所在地限リ流通スル紙幣ヲ
廢シテ本支店共通新紙幣ヲ發行スルコト第四段ハ前記三特
殊銀行ノ發行權ヲ中央銀行ニ歸一スルコトナリ居リ歸ス
ル所ハ金融ノ統制通貨ノ整頓ナル處中央ノ下ニ發行權ノ歸
一ヲ計リタル上南京政府ノ勢力地域ヲ不換紙幣(脱?)ト化
シ以テ南京政府財政ヲ安定スルト共ニ蔣介石勢力ヲ强大ナ
ラシメントスルモノナリ而シテ右方略ハ今後適時ニ現ハル
ルコト思ハルモ右ハ
⁽²⁾往年張父子財政ノ大規模ノ眞似ニ過キス多分ニ支那通貨、
金融、經濟ヲ混亂スルノ虞アリ現在張公權追出ハ財界ノ極
メテ注意ヲ拂フ所ニシテ支那通貨ハ目先悲觀ノ向多シ尙

560

支那通貨ノ整頓ナル處中央ノ下ニ發行權ノ歸
一ヲ計リタル上南京政府ノ勢力地域ヲ不換紙幣(脱?)ト化
シ以テ南京政府財政ヲ安定スルト共ニ蔣介石勢力ヲ强大ナ
ラシメントスルモノナリ而シテ右方略ハ今後適時ニ現ハル
ルコト思ハルモ右ハ
⁽¹⁾某要人ノ内話ニ依レハ張公權ノ中國銀行追出ハ豫テ蔣介石
ノ共匪討伐及軍備擴張等ニ依リ毎月一千五百萬元年額三億
元ノ赤字ヲ生シ居レル南京政府ノ財政對策並ニ蔣介石強化
方策トシテ孔宋兩人之ヲ立案シ蔣ノ決裁ヲ經タル秘密方略
ノ現レナルカ右方略ハ四段ニ分レ第一段ハ政府ノ財政政策
遂行上唯一ノ障碍タリシ中國銀行ヲ完全ニ政府ノ節制下ニ
置クコト第二段ハ中央、交通、中國以外ノ發券銀行ノ發行
稅ヲ發行ノ妙味ナキ迄引上ケ事實上發券停止ニ陷ラシム
コト第三段ハ現在發行ノ本支店所在地限リ流通スル紙幣ヲ
廢シテ本支店共通新紙幣ヲ發行スルコト第四段ハ前記三特
殊銀行ノ發行權ヲ中央銀行ニ歸一スルコトナリ居リ歸ス
ル所ハ金融ノ統制通貨ノ整頓ナル處中央ノ下ニ發行權ノ歸
一ヲ計リタル上南京政府ノ勢力地域ヲ不換紙幣(脱?)ト化
シ以テ南京政府財政ヲ安定スルト共ニ蔣介石勢力ヲ强大ナ
ラシメントスルモノナリ而シテ右方略ハ今後適時ニ現ハル
ルコト思ハルモ右ハ
⁽²⁾往年張父子財政ノ大規模ノ眞似ニ過キス多分ニ支那通貨、
金融、經濟ヲ混亂スルノ虞アリ現在張公權追出ハ財界ノ極
メテ注意ヲ拂フ所ニシテ支那通貨ハ目先悲觀ノ向多シ尙

行家ヲ招待シ前記ノ如キ決心ヲ披露スルモ一案ナルヘシト

述ヘタルニ宋ハ之ヲ首肯セル趣ナリ

尙其ノ節宋ハ自分ハ張公權ノ就任ヲ希望シ居リ從テ自分ノ

秘書ヲ一名入レタル外中國銀行ノ人事異動等モ行ハサル積

ナル旨ヲ述ヘ又往電第三三四號汪精衛ノ「インターヴュ

ー」ニ關スル「ユ一、ピ一」通信ニ言及シ汪ニ於テ右ノ如

ク對日態度ヲ變更スルカ如キハ考ヘラレス右ハ何等カノ間

違ナルヘシト述ヘ自分トシテモ日本トノ接近カ政治上ハ勿

論財政經濟ノ建直シノ點ヨリモ絕對ニ必要ナルコトヲ痛感

シ居ル次第ナレハ今後ノ金融經濟ノ救濟ニ關スル自分ノ計

畫ニ付テハ事前ニ日本側ノ意嚮ヲ參酌スル積ナル旨ヲ述ヘ

居タル趣ナリ

尙吉田ヨリ香上銀行「ヘンチマン」ニ就キ同行トノ借款談

ノ進行振ヲ尋ネタルニ「へ」ハ(右ニ答ヘス)孔ハ何等當ニ

ナラス宋子文ナラハ銀行界モ信用シ得ヘシト述ヘ居タル趣

ナリ

北平、南京へ轉傳セリ

506 昭和10年4月15日 在中国有吉公使より

広田外務大臣宛(電報)

宋子文が外國銀行代表者との私的会合で金融

不安に対する協力を要請について

本省 4月15日後着

上海 4月15日後発

第三三五號(極秘扱)

最近ノ銀高ニ依リ當地市場ハ通貨不安ヲ來シ居ル爲宋子文

ハ外國銀行トノ協調ヲ必要ト感シタルカ昨十四日急ニ外國

幹事銀行代表即チ正金矢吹、匯豐「ヘンチマン」、麥加利

「マーレー」、花旗「マッキー」、匯理「シユブルトン」、大

英「モイヤー」等ニ三菱吉田(幹事銀行ニ非サルモ從來宋

子文ヲ援助シ來レル關係上招カレタル模様ナリ)ヲ加ヘ私

邸ニ招待午後一時ヨリ四時迄私的會合ノ形式ニテ自由ニ討

議セル趣ナルカ支那側ヨリハ中央、中國兩銀行ノ外國課長

出席セリ吉田ノ報告ニ依レハ會議ノ內容左ノ通(委細郵報

スヘキモ本會議ハ絕對極秘ノ約束ナル趣ニ付外部ニ洩レサ

ル様御注意相成度シ)

宋子文ヨリ現在ノ通貨不安ニ對シテハ支那ハ飽迄健全通貨

七⁽⁵⁾爲替思惑買及銀ノ密輸出等ニ關シテハ大局上懸念ノ要無

シト觀ル者多カリシカ支那側ハ之ヲ頗ル重要視シ居レリ

シ宋ハ言明ヲ避ケタリ尤モ外國側ハ上海ノ爲替カ不當ニ

高マルコトハ不健全ニ付各自立場ノ許ス限り政府ノ賣方

針ヲ援助スヘシトノ方針ニ一致セリ(本十五日上海銀相

場暴騰セリ)

一、管理通貨ナルモノハ外國ト異リ支那ニテハ實施困難ナリ
二、支那ハ現在ノ處銀輸出禁止、平貨切下等ハ絕對二行ハサ

ル方針ナリ

三、平衡稅ハ主義トシテ撤廢ヲ可トスルモ既存ノ稅率ニ手ヲ
觸ルルコトハ却テ人心ヲ不安ニ導ク故ニ當分放任ス

四、外國銀行ハ市場ノ健實ヲ計爾爲支那側ノ希望ヲ容レ當分
銀ノ輸出ヲ差控ヘ商社、個人等ノ積出計畫ニ對シテモ各
銀行ハ之ヲ阻止スルニ努ムヘシ

五、市場ノ健全ヲ保ツ爲現在ノ市況ニ於テハ外支銀行ノ爲替

賣應シヲ絕對必要トス
六、目下ノ處支那銀行ハ賣應シノ資金ヲ豊富ニ所有スト宋ハ
明言セルカ右ニハ限度アリ外國銀行カ協調シ應戰スルコ
トヲ希望シ外國側トシテハ趣旨ニ贊成ナルモ濫ニ賣ノ

四 中國幣制改革

要スルニ會合ノ收穫ハ支那銀行ハ外國ノ協調援助ヲ切望ス
ルノ態度ヲ明カニシ支那政府ノ採ルヘキ通貨政策ヲ暗黙ノ

内ニ先約シ外國側モ從前ノ孔祥熙ニ對スル態度ト異ナリ宋子文ニ對シテハ自由討議ト出來得ル限りノ援助ヲ惜マサル態度ヲ示シ通貨政策ノ將來ハ兎モ角現下ノ對策ハ中外ノ協力ニ依リ健全通貨ノ方針ヲ採ル外無キコトニ意見一致セルコト等ナリ尙十五日ノ外字紙ハ右會合出席者ノ氏名及宋ヨリ銀問題ニ付平衡委員會ノ方針ヲ説明シ銀流出防止ノ外支協力方申出テタル旨ヲ報道シ居ル處漢字紙ハ右宋ノ招待及列席者ノ氏名ヲ簡單ニ報道シ右ハ宋ノ近親者ノ會合ヲ誤傳セルモノナリトノ中央通信ノ否定的報道ヲモ併セ掲載セリ南京へ轉電セリ

507 昭和10年4月16日 在中國有吉公使より
広田外務大臣宛(電報)

第三三六號

宋子文ハ本十六日支那人記者ト會見シ金融問題ニ付意見ヲ

金融問題に関する宋子文・孔祥熙の談話およ
び動向について

上 海 4月16日後発	本 省 4月16日後着
-------------	-------------

對シテモ地方金融業者ニ對シ思惑的輸出ヲナササル様說得方指令セル旨聲明セル趣ナリ尙邦人銀行代表者ハ十四日ノ宋子文ト外國銀行家トノ會談ノ結果ニ付十五日午後ノ會合席上報告ヲ聽取シ種々討議セル趣ナルカ本十六日午後外國側組合銀行ノ會合ニ於テ對策ヲ討議スル趣ナリ南京ニ轉電セリ

508 昭和10年4月17日 在中國有吉公使より
広田外務大臣宛(電報)

第三三七號

外国銀行組合の臨時總会で銀輸出を當分行わ
ない旨意見一致について

本省 4月17日後発

往電第三三六號末段ニ關シ

當地外國銀行組合ハ昨十六日「チャータード、バンク」ニ於テ臨時總會ヲ開キ十四日宋子文ト私的會合ノ形式ニテ會議シタル諸案ニ關シ協議スル處アリシカ出席者ハ日本側六大銀行ノ外大銀行殆ト全部出席シ左記意見ニ一致セル趣ナリ

發表シタルカ右會見後特ニ聯合及朝日ノ記者ヲ引見シタル趣ナリ右會見ニ於テ宋子文カ記者ニ語レル所トシテ十六日「ボースト」ニ報道セラレタル所左ノ通り

宋ハ中央、中國、交通三銀行ノ合併說ヲ強く否定シ支那ハ自分ノ知ル限り左程危機ニ在ルモノト思ヘスト語リ十四日外國銀行家招待ニ關シテハ外國銀行側ノ協調的態度ヲ賞揚シ外國側ハ自發的ニ思惑的取引ヲ爲ササル旨約束セリト述へ右會合ノ内容ハ孔部長ニ報告セリト語レリ銀問題ニ關スル米國トノ交渉ニ關シテ銀政策ノ緩和方依然交渉繼續中ナルモ自分ノ知ル限り支那ヨリ抗議セル事實ナシ借款問題ニ關シテハ宋ハ始メテ自分カ孔部長ニ代リ昨年香上銀行ト交渉シタル次第ヲ披露シ現在ノ交渉ニ付テモ内報ヲ受ケ居ルモ話又能ハスト答ヘタル趣ナリ

尙孔部長ハ十五日午後支那銀行家ト協議ノ結果三銀行ヨリ市面救濟ノ爲二千萬元ヲ融通シ内一千萬元ハ不動產擔保付ニ當テ殘額ハ商工業救濟ニ充當スルコトニ決定セル趣ナリ孔部長ハ十六日夜赴寧前市中某銀行及廈門ノ錢莊等カ銀輸出ヲ計畫シ居ル事實ヲ指摘シ之等ヲ奸漢ト罵リ稅關ニ對シ銀ノ密輸出取締ヲ指令スルト共ニ中國銀行ヨリ各地支店ニ

リ(出席者ノ内報)

一、銀ノ輸出ヲ當分行ハサルコト

本件ニ關シテハ期限附ヲ希望スルモノアリシモ短期間ニテハ却テ惡影響ヲ及ホス惧アリ又長期間ニテハ外國銀行側ニ難色アリテ結局其ノ時ノ狀態ニ依リ組合銀行ニ於テ再ヒ協議シ自由行動ニ出テ得ルコトトセリ

二、商社並ニ個人ノ積出ニ關シテハ積出中止ヲ強制スルコト出来サルモ之ヲ援助セサルコト

三、⁽²⁾上海以外ノ各開港場ニ於テモ上海同様ノ協調ヲ希望シ其ノ實現方依頼スルコト

四、宋子文ヲシテ外國組合銀行ニ對シ公式ニ支那ノ健全通貨ニ協力スル様申込マシムルコト

右ニ關スル各方面ノ觀察ヲ綜合スルニ外國銀行側ニ於テハ昨年度ノ銀積出ニテ手許在銀過少トナリ極度ノ金融難ニ陥リシ苦キ經驗アレハ今回ノ支那側申出ニ進テ協調セントスル意思アルコト他方支那側ニテモ人心安定策相當效ヲ奏シテ通貨不安觀念薄ラキ資本ノ海外逃避ヲ企テルモノ殆ト無キ狀態トナリタレハ何等カノ突發事情無キ限り本打合ニ依リ當分金融市場ハ安定ヲ保チ得ルヤニ觀察セラレ居レリ

南京へ轉電セリ

得ベキヤ

509 昭和10年4月19日 広田外務大臣より
在中國有吉公使宛(電報)

宋子文の外國銀行に対する協力要請に關し詳

細探査方訓令

本省 4月19日發

第一一號(極秘扱)

貴電第三三五號二關シ

右貴電ニ付テハ大藏省ト協力シテ研究セル處支那側ノ真意諒解シ難キ點モアリ委細郵報ヲ待チ居ル次第ナルモ差當り左記諸點御探査ノ上結果回電アリ度シ

一、爲替賣應ジトハ積極的ニ賣却スルコトヲ意味スルカ、或ハ單ニ受動的ニ外貨需要アル時之ヲ供給スルコトヲ意味スルカ

二、爲替賣應ジヲ必要トスル程ノ外貨需要アリトセバ右需要ノ目的(實需、資本逃避、投機等)ハ何レニアリヤ

三、爲替賣應ジハ爲替相場ノ上昇ヲ招來スルニ非スヤ。上海財界ハ右ノ上昇ニヨル「デフレーション」的效果ヲ耐ヘ

四、爲替賣持ノ爲外支銀行ハ早晚其ノ所持銀ノ處分等ノ措置ヲトルヲ要スルモノト考ヘラル處此ノ場合ニハ爲替相場ノ反動安ヲ招來スル虞ナキカ

南京へ轉電セリ

510 昭和10年4月20日 在南京須磨總領事より
廣田外務大臣宛(電報)我が方の対中借款供与および対中債権整理に
關する汪兆銘と対中債権者組合代表内田東亞

興業常務との会談要領について

南京 4月20日後發

第三九五號

東亞内田ハ十七日來寧本官ト打合ノ上十九日汪兆銘ト會見セルカ左ノ通り談話セル由

一、汪ヨリ鐵道部交通部關係ノ債務ハ個別的ニ整理若ハ整理中ナルカ財政部關係其ノ他一般的債務ニ付テハ債務整理委員會ニ日本班様ノモノヲ設ケ債権者トノ接觸ニ當ラシ

業常務に我が方意向を打診について

上海 4月23日後發

本省 4月23日後發

第三六〇號

南京發大臣宛電報第三九五號二關シ

二十日内田孔祥熙ト會談(曾仲鳴同席)要領左ノ通

メ度シト申出テ汪ハ内田ヨリ然ラハ右趣旨ヲ公使館側ニ正式申入レラレ度シト應酬シ置キタル由(尙貴大臣發支宛電報第一〇六號ノ件ニ關シテハ二十日上海ニテ孔祥熙ト會見ノ筈)

三、次ニ汪ヨリ日本ハ借款ニ應スヘキヤト繰返シ尋不タルヲ以テ内田ハ幣制改革ト言フカ如キ漠然タル目的ノ爲借款ニ應スル國ハ無カルヘク現ニ張公權ハ幣制改革ノ必要ナシトノ意見ヲ發表シ居リ又虞治卿モ金融逼迫ハ資金缺乏ニ基クニ非スシテ政府ノ設置當ラサルニ依ルト述ヘ居ル次第ナリト答ヘタル上例ヘハ「ビジネス、ペーパー」ニ依リ日本ヨリ商工業發展農村救濟ニ要スル物資ヲ購入シ其ノ代金ニ付考慮ヲ求ムト言フカ如キモノナラハ兎モ角徒ニ莫大ナル借款計畫ハ問題トナラサルヘシト附言セル處汪モ大体納得セル体ニ見受ケラレタル趣ナリ

支、北平へ轉電セリ

511 昭和10年4月23日 在中國國庫內公使館一等書記官より
廣田外務大臣宛(電報)

我が方の対中借款供与に關し孔祥熙が東亞興

府トシテハ目下交通等ノ借款ヲ整理シ居レハ誠意ヲ有ス

ルモ財政部ハ財源無キ故ニ致方無シト説明シ兔ニ角曾宗鑑(杭州ニ旅行中ナリ)ヲシテ詰合ヲ行ハシムヘシト答ヘタリ

三、内田ヨリ切メテ銅元局借款ナリトモ整理スヘシト述ヘタルニ對シ孔ハ之ヲ整理セハ各方面ヨリ整理要求出テ困ル故本件整理ハ當分問題トシ難シト述ヘ何等要領ヲ得ス

(右内田ヨリ曾仲鳴ニ對シ前記孔部長ノ態度ニハ満足シ難キ旨更ニ汪院長ノ考量ヲ求メラレ度シト申置ギタル趣ナリ)

南京へ轉電シ北平へ暗送セリ

512 昭和10年4月23日 在中國堀内公使館一等書記官より
広田外務大臣宛(電報)

宋子文の外國銀行に対する協力要請に關し調査結果報告

上海 4月23日後発
本省 4月23日後着

第三六一號

一、銀ノ流失防止ニハ外國側モ「モラルサポート」ノ紳士的約束アレハ外銀ハ其ノ輸入「ビル」ノ「カバー」ニハ上海市場ノ賣爲替ヲ買フカ故ニ超狀態ヨリ見ル時ハ相當ノ實需アリ又當地ノ銀相場カ約三割方「デスパリティ」ニ在ル間ハ退藏逃避等ノ虞アレハ右實需以外或程度迄ハ積極的ニ賣リ應スル要アルヘシ

二、支那側ノ賣爲替ハ一日平均五萬乃至十萬磅見當ナルカ本年度入超毎月平均三千萬元トスレハ實需以外ノ逃避又ハ投機ハ割合ニ少キヤニ觀察セラル

三、賣應シハ爲替相場騰貴シ「デフレーション」ノ惧アレトモ現在ノ處一般民衆ノ無關心ナルト通貨不安ノ潛在意識カ物ニ換ヘントスル傾向ヲ助長シ居ル爲當地物價ニハ未タ影響殆ト無シ萬一不動產棉花其ノ他支那銀行ノ擔保物件ニ暴落ヲ來タスコト有ラハ當地財界カ其ノ損失ニ堪ヘ得ルヤ多大ノ疑アリ

四、爲替賣持決済ニハ銀ノ輸出ヲ餘儀無クセラルヘク現在ノ

健全通貨主義ヲ維持スルニハ外國借款ニ依ル外無シトシテ其ノ成立ヲ要望シ居レルカ借款不調ノ際ノ對策如何ハ何人モ全然豫測シ能ハサル所ナリ
南京へ轉電セリ

513 昭和10年4月25日 在中國堀内公使館一等書記官より
広田外務大臣宛(電報)

外國銀行による銀輸出には輸出禁止措置發動
で対抗すべき旨宋子文内話について

上海 4月25日後発
本省 4月25日後着

第三六七號(極秘)
往電第三三五號ニ關シ

宋子文ノ外國銀行代表招待ニ關聯シ若シ外國側カ協調ヲ肯セサル場合宋等カ如何ナル措置ニ出ツル腹ナリシヤハ列席ノ銀行家仲間ニモ意見區々ナリシカ麥加利銀行支配人ハ朝鮮銀行服部ニ對シ宋ハ銀輸出禁止ノ腹ナリシ様觀取セラレタリト内話セル經緯モアリ今二十五日服部宋子文ヲ往訪シ「スペキュレイター」カ米國ニ加擔シ居ル此ノ際支那ハ到

貴電第一一號ニ關シ

岩井領事ヲシテ當地銀行家(李銘、錢永銘、矢吹等)ニ付確メシメタル結果左ノ通

一、銀ノ流失防止ニハ外國側モ「モラルサポート」ノ紳士的約束アレハ外銀ハ其ノ輸入「ビル」ノ「カバー」ニハ上

海市場ノ賣爲替ヲ買フカ故ニ超狀態ヨリ見ル時ハ相當ノ實需アリ又當地ノ銀相場カ約三割方「デスパリティ」ニ在ル間ハ退藏逃避等ノ虞アレハ右實需以外或程度迄ハ積極的ニ賣リ應スル要アルヘシ

二、支那側ノ賣爲替ハ一日平均五萬乃至十萬磅見當ナルカ本年度入超毎月平均三千萬元トスレハ實需以外ノ逃避又ハ投機ハ割合ニ少キヤニ觀察セラル

三、賣應シハ爲替相場騰貴シ「デフレーション」ノ惧アレトモ現在ノ處一般民衆ノ無關心ナルト通貨不安ノ潛在意識カ物ニ換ヘントスル傾向ヲ助長シ居ル爲當地物價ニハ未タ影響殆ト無シ萬一不動產棉花其ノ他支那銀行ノ擔保物件ニ暴落ヲ來タスコト有ラハ當地財界カ其ノ損失ニ堪ヘ得ルヤ多大ノ疑アリ

四、爲替賣持決済ニハ銀ノ輸出ヲ餘儀無クセラルヘク現在ノ

ヘシ云々ト附加シ居リ外國銀行モ輸出禁止等ノ過激手段ヲ
避クル爲已ムヲ得スト認メ何レモ同意署名セル趣ナリ
南京へ轉電セリ

514 昭和10年5月7日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

孔祥熙の対日借款要請は具体的な内容がない
め回答できないと許建屏に通報について

南 京 5月7日後発
本 省 5月7日後着

第四三七號

七日他用ヲ以テ會見ノ許建屏ハ本官ニ對シ借款話モ「クレ

支、北平ニ轉電セリ

デツト」設定話モ行詰リ居ル處過般來孔部長ヨリ貴官ニ申
出居ル支那側希望(往電第三八二號等御參照)ニ對シ御意見
アリヤト尋不タルヲ以テ本官ヨリ孔部長ノ御話ハ具體的内
容ヲ有シ居ラサルニ付本國政府ヨリ何等ノ消息モ期シ居ラ
スト答ヘタルニ許ハ米國ノ銀政策緩和方ニ付テハ視察團ヲ
通シテモ嚴重申入レ居ル次第ナルカ其ノ效果ナシ一部ニハ
米國品「ボイコット」ヲ主張シ居ル向アル處支那ハ「ボイ
コット」ニ依リ却テ失フ所多カルヘキヲ以テ問題トナラス
結局政費節約ノ外ナク最近ハ官吏三割減俸案論議セラレ居
レリト語リタリ

2 英国による対中国財政共同援助提議

515 昭和10年2月16日 在英國松平大使より
廣田外務大臣宛(半公信)

中國問題での日英提携実現を英國政府研究中

につき我が方対処方針回示方請訓

*謹啓陳者我方ノ對支根本方針ニ付テハ累次ノ御訓令ニテ承
知致居候處先般來當國ニ於テ滿洲國顧問「エドワード」及

現大藏事務次官ニシテ「シビル、サーヴィス」ノ「ヘッ
ド」ナル「サム、ウォーレン、ファイツシャー」等主動者ト
ナリ支那問題ニ付具体的ノ日英提携實現方ニ關シ内々政府
筋ニ運動ヲ續ケタル結果閣議ニ於テモ之ニ關シ研究スルコ
トトナレル趣ニテ殊ニ英國側力最近支那側ヨリ香上銀行ニ
對スル借款申出ヲ拒絕シタルコトニ關聯シ右考案ハ稍々具
体化シ來ラムトスル模様モ見工場合ニ依リテハ將來英國政
府ヨリ本件ニ關シ我方ニ對シ何等カノ相談ヲ持懸ケ來ルヤ
モ計リ難シトモ被認候申ス迄モナク本件ハ問題力相當重大

ナルノミナラス機微ノ點ニ觸レ居ルニモ鑑ミ「エ」及「フ
イ」ニ對シテハ事態ノ推移ニ關スル報告ヲ受クルニ止メ全
體化シ來ラムトスル模様モ見工場合ニ依リテハ將來英國政
府ヨリ本件ニ關シ我方ニ對シ何等カノ相談ヲ持懸ケ來ルヤ
モ計リ難シトモ被認候申ス迄モナク本件ハ問題力相當重大

昭和十年二月十六日

在英

特命全權大使 松平 恒雄

外務大臣 廣田 弘毅殿